予防対策取組状況調査の調査内容について

資料１

１．背景

2013・2014年度に実施した「神奈川県石油コンビナート等防災アセスメント調査」で想定した災害に対応するため、2015年度に「神奈川県石油コンビナート等防災計画」を見直した。

2016年度から、見直した防災計画の推進のため、特定事業所の予防対策の促進等を進めている。

２．今年度の調査票（案）について

　　「３．2021年度以降のアンケート調査方法」及び「４．今後のアンケート調査及び追加調査（合同立入検査）の方向性」を踏まえ、今年度は参考資料１－１の調査票により調査を行う。（来年度は参考資料１－２の調査票を予定。）

３．2021年度以降のアンケート調査方法（2021年度第２回神奈川県石油コンビナート等防災対策検討会資料より）

2021年度以降の調査に関しては、「３　実際の調査状況と課題について」に記載のとおり、当該調査がいくつか課題があるため、2020年度の調査結果を踏まえ、今までの調査方法（内容、頻度）を抜本的に見直し、次に示す形で実施。

**【毎年実施する項目】**

次の項目は、例年、一般県民への公表資料等に活用しているため、継続して毎年調査を実施。

・津波対策（高圧ガス容器の流出防止対策）

・事業所外への被害拡大防止対策

・防災訓練

・製品等の製造設備の対策（計器室の安全管理）

・保温材等設置配管の外面腐食対策

・機器・設備単位での対策実施状況（危険物タンク、プラント、緊急移送設備、消火用屋外給水施設）

【**2021年度～2024年度の間に実施する項目（【毎年実施する項目】を除く）】**

　上記以外の項目については、調査における課題を踏まえ、2021年度から次に示すような計画で調査を実施。

第一グループ（2021年度及び2023年度に実施）

・緊急移送設備の現況（フレアスタック、除外設備の耐震検証）

・応急復旧資機材（土嚢等）の準備（2021年度のみ）

・緊急停止マニュアルの整備（2021年度のみ）

第二グループ（2022年度及び2024年度に実施）

・海上入出荷施設(桟橋)の津波対策

・高圧ガス配管の耐震対策

・危険物屋外タンクの側板点検

・反応設備等を有するプラントの地震対策（計器室）

・消火用屋外給水施設の耐震対策及び液状化対策

【**2025年度以降に実施を予定】**

2020年度に**追加調査（合同立入検査）**を実施した項目は、全ての事業所で、何らかの対策を講じていることが分かった。

基本的に「神奈川県石油コンビナート等防災計画」で求めているいくつかの対策は、設置にかなりの費用負担が生じることや、即座の対応が難しい状況であることを踏まえ、５年間の経過観察を行う。

・特定、準特定危険物タンク(500～１万kℓ)への緊急遮断措置

・津波対策（危険物容器の流出防止対策）

４．今年度の調査スケジュール（案）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 2022年度 | | | | | | |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| アンケート調査実施期間  　※調査期間は１か月間を予定 |  |  |  |  |  |  |  |
| アンケート調査回答の集計 |  |  |  |  |  |  |  |
| 立入検査内容の検討 |  |  |  |  |  |  |  |
| 公表案の作成 |  |  |  |  |  |  |  |
| 立入検査の実施 |  |  |  |  |  |  |  |
| 検討会　（結果報告） |  |  |  |  |  |  | ● |